

軍部極秘

中

昭和二十年一月

Cincpro-Cincpro
B-26953
OKINAWA 24 July

卷番號第二號

24016

自一月三日
至一月四日

戰

鬪

詳

報

中
49

WD #
156255

野戰高射砲第八大隊

進		區分	
進	達先	整理	番號
第三十二軍司令部	自第()連至第二()連	第一()連	第二()連
第三野戰高射隊司令部	第三()號	第一()號	第二()號

戰鬪詳報目次

一 戰鬪前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

其一 我ガ形勢ノ概要
其二 敵形勢ノ概要

二 戰鬪ニ影響ヲ及ボシタル氣象地形

三 彼我ノ兵力

其一 敵ノ兵力
其二 我ノ兵力

四 敵ノ機種機數裝備素質及戰法

五 戰鬪經過及關係部隊ノ動作並連絡施設ノ狀態

其ノ一

其二、關係部隊、動作
其三、連絡施設、狀況

六、戰鬥後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

其一、我ガ形勢ノ概要
其二、敵形勢ノ概要

七、齟齬過失、他將來ノ參考トナルベキ事項

附表

第一野戰高射砲第六大隊死傷表

第二野戰高射砲第六大隊兵器損耗表

附圖

第一野戰高射砲第六大隊配置並通信網要圖

自第二野戰高射砲第六大隊

其一、我形勢ノ概要

教育

大隊ハ十月十日空襲ニ於テ得タル戰訓ヲ活用シ初彈必墜ノ確信射撃ヲ徹底セシムルヲ以テ築城作業ノ傍ニ教育訓練ニ邁進シ赤リシヲ以テ逐日練度ヲ向上シテリタリ

築城

空襲ニ鑑ミ昨早十月以降徹底セリ陣地ノ補強擴張ヲ企圖シ致マシテ築城ニ勵ミ十月末ニ於ケル陣地重要部ハ概成、域ニ達シ更ニ之ヲ擴張中ナリ

彈藥

彈藥ハ分散格納ニ徹シ空襲ニヨル被害ニ局限スル如ク實施シテリ直前、十月三日、五日、西日ニ涉リ「マリヤナ」法ヲヨリスル、B二九ノ偵察行動ニ

形勢

ハルコトヲ敵機素襲ノ算テヨリ以テ至嚴ナル警戒ニ實施中ナリ

其二、敵形勢ノ概要

十月十日敵機動部隊中隊機高接近スルアリ又在茨木空軍ノ轟撃

領ニ沿發トナリ南西諸島空襲ノ算大ナリト判断セラル、狀況ハ左スナリ

中旬再々敵機動部隊中隊機高接近スルアリ又ハルコトヲ思ハシムルハ

中旬再々敵機動部隊中隊機高接近スルアリ又ハルコトヲ思ハシムルハ

中旬再々敵機動部隊中隊機高接近スルアリ又ハルコトヲ思ハシムルハ

中旬再々敵機動部隊中隊機高接近スルアリ又ハルコトヲ思ハシムルハ

中旬再々敵機動部隊中隊機高接近スルアリ又ハルコトヲ思ハシムルハ



月末ヨリ一日行マテ敵「B二九」ノ層次ノ偵察行動アリタルヲ以テ嚴重ナル警
戒ヲ示スルナリ

二 戦闘ニ関スル事情ニ及ボシタル氣象地形

其ノ一 氣象

當日ハ晴ルニシテ雲量三、雲高二〇〇〇内外風向東南ヨリ西北ノ風速二乃至三
米ニシテ日出ク七九日没一七四九ナリ、視程極ノテ大ニハ素霧時期ハ〇七〇〇
頃ヨリ一五〇〇頃ニ至ル迄ニシテ薄霧登リ未明ニ至ル間素霧ハスルト紛ナリモ
ノ如シ

其ノ二 地形

本地形ハ東方ハ最高一六〇米一連ノ山地西方ハ海洋ニシテ北飛行場ハ標高七〇
米ノ台地上ニシテ其ノ面積概ネニ五料四方ナリ當大隊ハ同飛行場南側對面
附近疎地ヲ占領シアリタリ本地形ハ海洋ニ超低空ヲ以テ逃避スル敵機ノ射撃ヲ
コ困難ナラシム

三 彼我ノ兵力

其ノ一 敵ノ兵力

其ノ二 我ノ兵力

大隊ハ將校ヲ下士官並ニ兵員並ニ名ニシテ團總志願兵ニ極メテ旺盛ナリ兵器
ハ要地周(船舶周)ハ九式七種高射砲ニシテ各中隊六門計十八門ニシテ砲床ハ本
材砲床ヲ以テ備定シ機葉ハ九式信管トハ九式信管トヲ併用ス

四 敵ノ機種、機数、装備、素質、及戦法

一 機種
ボイイングB二九一機ハゴリヤナシ基地ヨリ来襲シタルモノ、如ク戦斗機ガミラン

機数
F6F一六機ハ總テ艦爆ナリカーチスSB2Cモ参加シアラズヤト判断
セラル

二 装備
艦爆ハ投下セザリシモノ十三機ニテ機南砲数機ヲ有スルモノノ如シ

三 素質
敵ノ戦意ハ極メテ旺盛執拗ナリ對地攻撃手ノ照準祖漏ナドモ機機偵候

奔ニシテ天候、地形、時期ノ利用巧ナリ

四 戦法
攻撃手法ハ敵狀攻撃ニシテ目標附近ニ到着スルヤ敵機ハ編隊ヲ解キニ至

四機ハ連續陣トナリ急降下モ高度八〇附近ヨリ銃撃ヲ開始シテゴロニ至
ル附近迫降下シ翼ヲ振り出サス又敵機ガ左側ヲ撃ニシ射撃ノ照準ヲ固

月末ヨリ一月初マテ敵Bニ九ノ屢次ノ偵察行動アリタルヲ以テ嚴重ナル警告
或下ニアリタリ

二 戦闘ニ影響ヲ及ボシタル氣象地形

其一 氣象

當日ハ晴天ニシテ雲量三、雲高二〇〇内外風向東南ヨリ西北ハ風速二乃至三
米ニシテ日出〇七九日没一七四九ナリ視程極ノテ大ナリ未襲時期ハ〇七〇〇
頃ヨリ一五三〇頃ニ至ル迄ニシテ薄暮ヨリ未明ニ至ル間未襲ナルト紛ナルモ
ノ如シ

其二 地形

本地形ハ東方ハ最高一六〇米一連ノ山地西方ハ海洋ニシテ北飛行場ハ極高ナリ
米ノ台地上ニシテ其ノ面積極ホニ五料四方ナリ當大隊ハ同飛行場南側陸路
附近障地ヲ占領シアリタリ本地形ハ海洋ニ超低空ヨリ以テ逃避スル敵機ヲ射撃
ヲ困難ナラシム

三 彼我ノ兵力

其一 敵ノ兵力

其二 我ノ兵力

大隊ハ將校ヲ下至警備員共五五名ニシテ團結力極ホテ旺盛ナリ兵器
ハ零地南(船塢側)ハ九式七機銃射地ニシテ各中隊六門計十八門ニシテ砲床ハ木
材砲床ヲ以テ備地ニ機銃ハ一式信管トハ九式信管トヲ併用ス

四 敵ノ機銃機数、装備、素質及戦法

ノ機銃機一〇台Bニ九一機ハコリヤナ基地方ヨリ未襲シタルモノ、如ク戦斗機ガラマン
機数 一六機ハ總テ艦爆ナリカーキスSB2Cモ参加ミアラズヤト判断

セラル

又機銃機ノ射下セザリシモノ十三機二十機機銃砲数機ヲ有スルモノ、如ク

ノ素質 敵ノ戦意ハ極ホテ旺盛執拗ナリ對地攻撃手ノ照準祖漏ナドモ、機銃機ノ偵察

亦ニ五ノ夫候地形、時期ノ利用巧ナリ

ノ戦法 攻撃手法ハ波狀攻撃ニシテ目標附近ニ到着スルヤ敵機ハ編隊ヲ解キニ至

四機ハ軍機障トナリ急降下モ高度八〇附近ヨリ銃撃ヲ開始シ一〇〇ノ距離
ヲ附近迄迄降下シ異ヲ振り去ラス又敵機ノ機銃機ノ射撃手ノ照準ニ因

雖ナラシメタルコト、空中指揮良好ニシテ、集散高合極メテ巧妙ナリシコト、天候地形ノ判断良好ニシテ之ヲ利用セルコト、軍從來ノ如ク科學的根據ニ基テ組織的戦法ヲ採用シタルモト判断セラル

五戦闘經過 及關係部隊ノ動作並連絡施設ノ状態

其ノ一 戦闘經過

一月三日

最近「マリヤナ」基地ヨリスル「B二九」ノ偵察行動頻々タルヲ以テ大隊ハ過日來

敵機發見 嚴重ナル警戒ヲ實施中「ロハ五五」第二中隊「B二九」三機似セル被殺不明機一機

戦斗姿勢 耶爾方向ニ發見、大隊ハ直チニ戦闘姿勢ニ轉移シテ各隊敵機ヲ捕捉進

隨ヒテ、敵機ノ我々威カ内ニ入ルヲ待チ之ヲ邀撃スルベク準備完了ス

敵機未襲 「ロ九〇三」「B二九」一機陣地上空ニ侵入、第一中隊「B二九」二機射撃シタルモ之ヲ

射撃 敵機「B二九」一機、該機ハ東北方ニ機影ヲ没ス (別紙要圖ヲ見)

敵機未襲 「ロ九三三」「カラムン」二機、西南方海面ニ出現、東進シ東南方山地上空

ニ侵入シ編隊ヲ解テ敵機宛ニ急降下ニ依リ北飛行場ヲ銃撃セリ、各中隊

ハ信管射撃ヲ以テ敵敵機ニ有効ナル射撃ヲ與ヘタリ

折柄、第二中隊ハ急降下後上昇離脱セントスル最中、二機編隊ニ射撃シテ

離射撃ヲ以テ之ニ火ウヲ集中スルヤ其ノ一機ハ二番機ノ至近ニ炸裂シ該

機ハ漸次高度ヲ下ゲ白煙ヲ發シテ、却屋西方海面ニ墜落セリ (別紙要圖ヲ見)

「ロ九五五」北方ヨリ北飛行場上空ニ侵入南進スル「カラムン」二機ニ對シ第一

中隊、第二中隊各々一機射撃シテ射撃ヲ有効ナル至近彈ヲアツ

ヘタルモ、敵機上ニ至ラズ (別紙要圖ヲ見)

球上作命 一三「B二九」四機發見シタルニ依リ戦斗姿勢ヲ維持スベシトノ

命令、軍高射砲隊命令ヲ受領

戦斗姿勢 大隊ハ直チニ戦斗姿勢ニ轉移シ至嚴ナル警戒ヲ實施シ敵機ノ來襲ヲ待ツ

一五二五敵情ニ關シテハ其後新報ヲ得ガレニ依リ大隊ハ休息姿勢ニ移行セルモ

敵機ノ奇襲ニ備ヘ警戒ヲ嚴ナラシメ北飛行場ノ掩護ニ萬全注意ナキコ

期シムアリ

一月四日

情報

ロハ五北嘉義敵機空襲中トノ情報ヲ受テ大隊ハ監視哨ヲ増加ス成
然至嚴ナル警戒ヲ實施中ニシテ 天候悪ク雲低ク至リ視程極メテ小ニシテ監視
視極メテ困難ナル狀況ニアリタリ

敵機急襲一〇四北北ウニ空宿雲中ヨリ「グラマン」F6F十数機出現スルヤ急降下銃撃ヲ
戦士姿勢ヲ以テ北へ飛行場ヲ急襲セリ大隊ハ直チニ戦士姿勢ニ轉移シ敵機ノ撃下
墜ニ努メタルモ敵後續機ハ遂ニ我ガ威力圏内ニ侵入シ未ラズニテ何モ西
方海面上空ニ脱去セルモノノ如シ其後敵機ノ未襲スルモノナク一〇四ニ至ルモ
敵情ニ関シ新報ヲ得ザルニ依リ大隊ハ警戒急姿勢ヲカ之ニ移行ス

情報

情報ニ依リ敵機ハ現在一〇四ニ至ル間機動部隊ヲ以テ台湾南西諸島
ヲ攻撃スル企圖ヲ有スルモノノ如シ

大隊ハ益々警戒ヲ嚴ナラシメ敵機ノ未襲ヲ待機中會々一五〇・三三〇ガ
戦士姿勢向ニ連續セル爆發音アリ大隊ハ直チニ戦士配置ニ就テタルモ其後敵機ノ
警戒急姿勢ニ新報ヲ得ザルニ依リ警戒急姿勢乙ニ移行ス

情報ニ依リ敵機ハ現在一〇四ニ至ル間機動部隊ヲ以テ台湾南西諸島
ヲ攻撃スル企圖ヲ有スルモノノ如シ

情報

一五二四「グラマン」及「コンソリデーテッド」B二四屏東在空中ナル情報ヲ受テ
一六〇〇球高射砲隊司令部ヨリ敵情ニ関シ新報ヲ得ザルニ依リ警戒急姿勢カ
警戒急姿勢乙ニ移行スベシトノ命ニ依リ大隊ハ該態勢ニ移行シタルモ大隊ハ不斷ノ警戒
ヲ行ヒ何時タリトモ戦士姿勢ニ轉移スベク待機シアリ

其二關係部隊ノ動作

飛行場ニ在リシ友軍機ハ陸海軍機数機ト判断セラルモ此ノ間ニ於テ離着
陸單機数機ヲ認メタル外在空中機ナシ

其三連絡施設ノ状態

大隊ノ通信網附圖第一如ク司令部各中隊監視哨間ハ總ベテ複線ニシテ経
路ハ各々異ナル路線ヲ通過セリ且障地附近一〇四米内外ハ殆ドト五〇糎乃至一米
ノ壕内ニ敷設シアルヲ以テ銃撃手ニヨリ断線故障ナシ

六戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

其一我ガ形勢ノ概要

一月四日

情報

ロハ五台北嘉義敵機空襲中トノ情報ヲ受ク大隊ハ監視哨ヲ増カシ成
然至嚴ナル警戒ヲ實施中ニシテ 天候悪ク雲低ク空ヲ視極ノテ小ニシテ監
視極メテ困難ナル狀況ニアリタリ

敵機急襲一〇四東京北空宿雲中ヨリ「グラマン」F6F十數機出現スルヤ急降下銃撃
戦ヲニシテ以テ北空飛行場ヲ急襲セリ大隊ハ直ニ戦ヲ姿勢ニ轉移シ敵機ノ撃
墜ニ努メタルモ敵後續機ハ遂ニ我ガ威力圏内ニ侵入シ未ラズミテ何モ西
方海面上空ニ脱去セルモノナシ 其後敵機ノ未襲スルモノナク二〇〇ニ至ルモ

敵機三角シ新報ヲ得ザルニ依リ大隊ハ警戒急襲ヲ乙ニ移行ス
情報ニ依リ敵機ハ現在台湾空襲中ナルニ依リ一〇四各隊ハ警戒急襲ヲ
ヲ攻撃スル企圖ヲ有スルモノ如シ
大隊ハ益々警戒ヲ嚴ナラシメ敵機ノ未襲ヲ待機中會々一五〇、三三〇ガ
戦ヲ姿勢向ニ連續セル爆發音アリ大隊ハ直ニ戦ヲ配置ニ就ケタルモ其後敵機ノ
警戒急襲乙ニ新報ヲ得ザルニ依リ警戒急襲乙ニ移行ス

移至嚴ナル警戒ヲナシタリ
情報 一五四「グラマン」F6F「コンソリデーテッド」B四屏東在空中ナル情報ヲ受ク
一六〇球高射砲隊司令部ヨリ敵機ニ因シ新報ヲ得タルニ依リ警戒急襲乙
警戒急襲乙ニ移行スベシトノ命ニ依リ大隊ハ該態勢ニ移行シタルモ大隊ハ不斷ノ警戒
ヲ行ヒ何時タリトモ戦ヲ姿勢ニ轉移スベク待機シアリ

其ノ二関係部隊ノ動作
飛行場ニ在リシ友軍機ハ陸海軍機數機ト判断セラル、モ此ノ間ニ於テ離着
陸軍機數機ヲ認メタル外在空中機ナシ

其ノ三連絡施設ノ状態
大隊ノ通信網附圖第一如ク司令部各中隊監視哨間ハ總ベテ複線ニシテ経
路ハ各々異ナル路線ヲ通過セリ且障地附近一〇〇米内外ハ殆ド五〇糎乃至一
ノ壕内ニ敷設シアルヲ以テ銃撃手ニヨリ断線故障ナシ

六戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
其ノ一我ガ形勢ノ概要

一月四日一六〇大隊ハ警急姿勢乙ニ移行シタルモ敵機ノ襲撃ヲ豫期シ砲
戰準備 側ノ整備兵器ノ兵檢手入彈藥ノ整備陣地ノ偽裝ヲ行ハシメ依然至嚴

ナル監視ヲ續行中ニシテ翌日ノ戰斗ニ備フ

情報蒐集 大隊本部ハ司令部航空隊ト密ニ連絡シ情報ヲ蒐集シ以テ爾後ノ作戰
準備シツ、アリ

大隊ハ將校以下敵愾心ニ燃エ敵機必斃スヲ期シ志氣極メテ旺盛ナリ
其ノ二 敵形勢ノ概要

三四日南西諸島ヲ攻撃セル敵ハ米第三八機動部隊ニシテ三群ヨリ成ル機
動艦隊ニシテ同艦隊ハ二月二十番「ウルシー」ヨリ發一月二日ヨリ六日迄南西諸島
及台灣總督府ヲ攻撃スル企圖ヲ有スルモノ如ク又台灣軍ニ於テ得タル捕
虜ノ言ニ依ル敵ハ一月ヨリ六日ニ至ル間台灣南西諸島九州ヲ攻撃セシト計
畫シアルモ我が對空部隊ニ阻マレ且軍需品ハ分散シアルタメ戰果ヲ得ズシ
テ退散セリ

七 齟齬過失及其ノ他參考トナルベキ事項

一 情報ノ蒐集及傳達ニ就テ

大東洋に前ニセル如ク南西諸島ニアリハ敵機ヲ若クハ我機ヲ監視スルニ
及地ニアリテハ警戒機監視哨ノ整備セル監視網ヲ有スルコト絶對ニ必要ニ
シテカ、ルモノヨリ得タル情報ヲ迅速ニ戰斗遂行ヲ助スル滑ナラシムルヲ
要ス

二 兵器

之ガ爲ニ大隊ニ對空雙眼鏡ヲ増置スル要アリ

三 對空射撃

敵機最有効射撃兵ニ入ルヲ待テ、射撃手ヲ以テ一連射ニヨリ攻撃スル
如クナスヲ要ス

八 野戰高射砲第八二大隊死傷表附表第一ノ如シ

九 野戰高射砲第八二大隊兵器損耗表附表第二ノ如シ

野戰高射砲第八大隊將校及部將校官氏名一覽表

大	高少佐	海津哲夫	高少尉	大桐士
隊	高大尉	大島卓二	主中尉	長谷仁一郎
本	高中尉	岡橋貞藏	衛生見習士官	川口仁賢
部	高中尉	加藤秋典		
第一隊	高中尉	家市要	高少尉	谷脇敏夫
第二隊	高中尉	津田芳文	同	木元義文
第三隊	高中尉	光枝實	高少尉	國分國義
第四隊	高少尉	清水志朗	同	平野隆平
第五隊	高少尉	伊勢實	高少尉	江口省三
第六隊	高少尉	山室文八郎	同	金子一郎

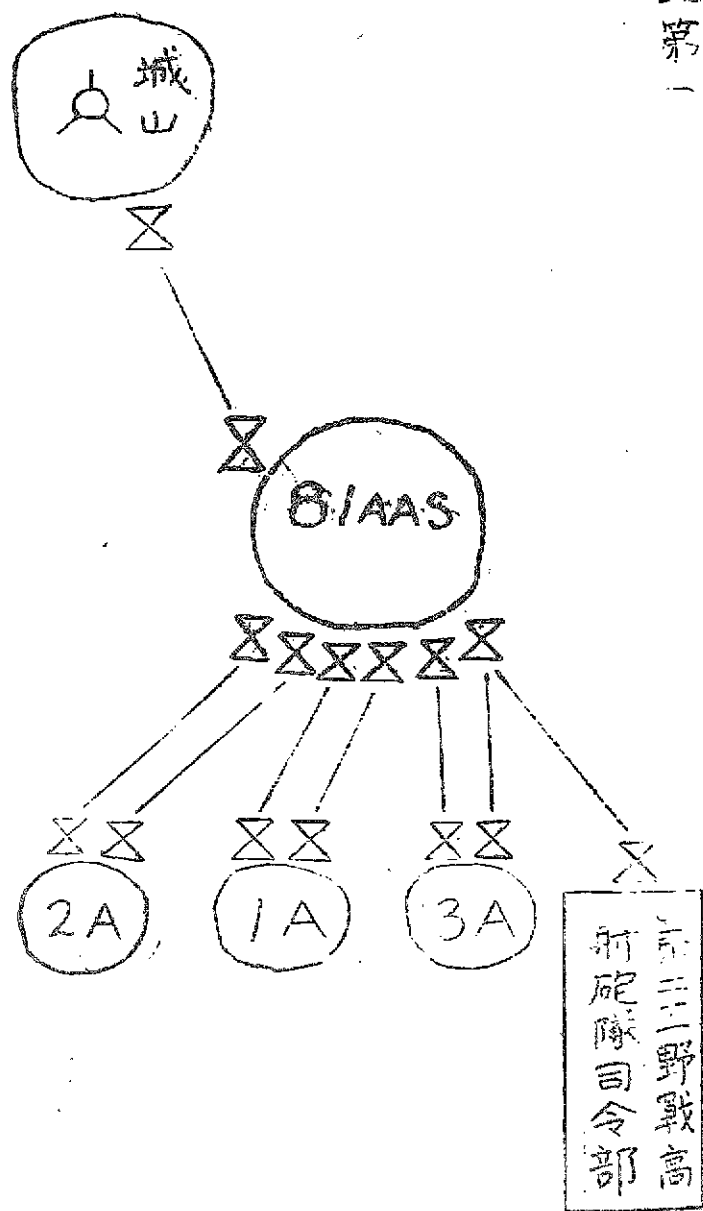
野戰高射砲第八大隊兵器損耗表

昭和三年二月四日調

總 序	合 計	第三中隊	第二中隊	第一中隊	部 類		區 分	
					射擊 隊	信管	消 費	損 耗
	65	32	8	25	射擊 隊	信管	消 費	損 耗
	17	9	2	6	射擊 隊	信管	消 費	損 耗
	48	23	6	19	射擊 隊	信管	消 費	損 耗
					射擊 隊	信管	消 費	損 耗
					射擊 隊	信管	消 費	損 耗
					射擊 隊	信管	消 費	損 耗

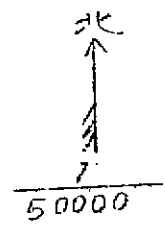
野戰高射隊第八十一號敵通網專圖

附圖第一

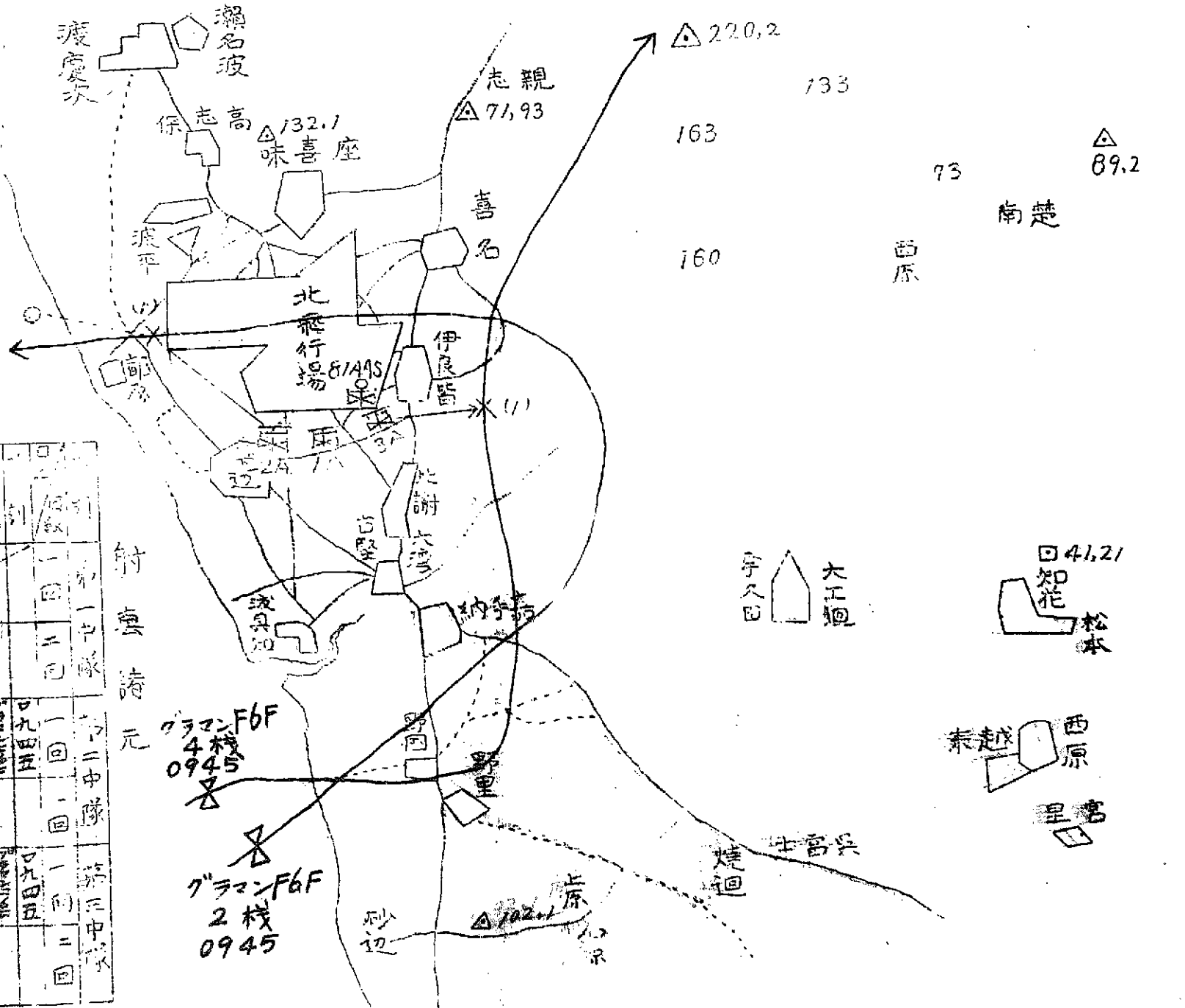


附圖第四 戰鬪要圖

(於一月三日九時四十分)



備考
 ○ハ墜落予想位置
 ×ハ射撃位置
 兵隊ハ敵機墜落ヲ示ス
 格弧内数字ハ射撃ヲ示ス



射撃誘元

第一中隊	一回	二回	三回	四回	五回	六回	七回	八回	九回	十回
第二中隊	一回	二回	三回	四回	五回	六回	七回	八回	九回	十回
第三中隊	一回	二回	三回	四回	五回	六回	七回	八回	九回	十回

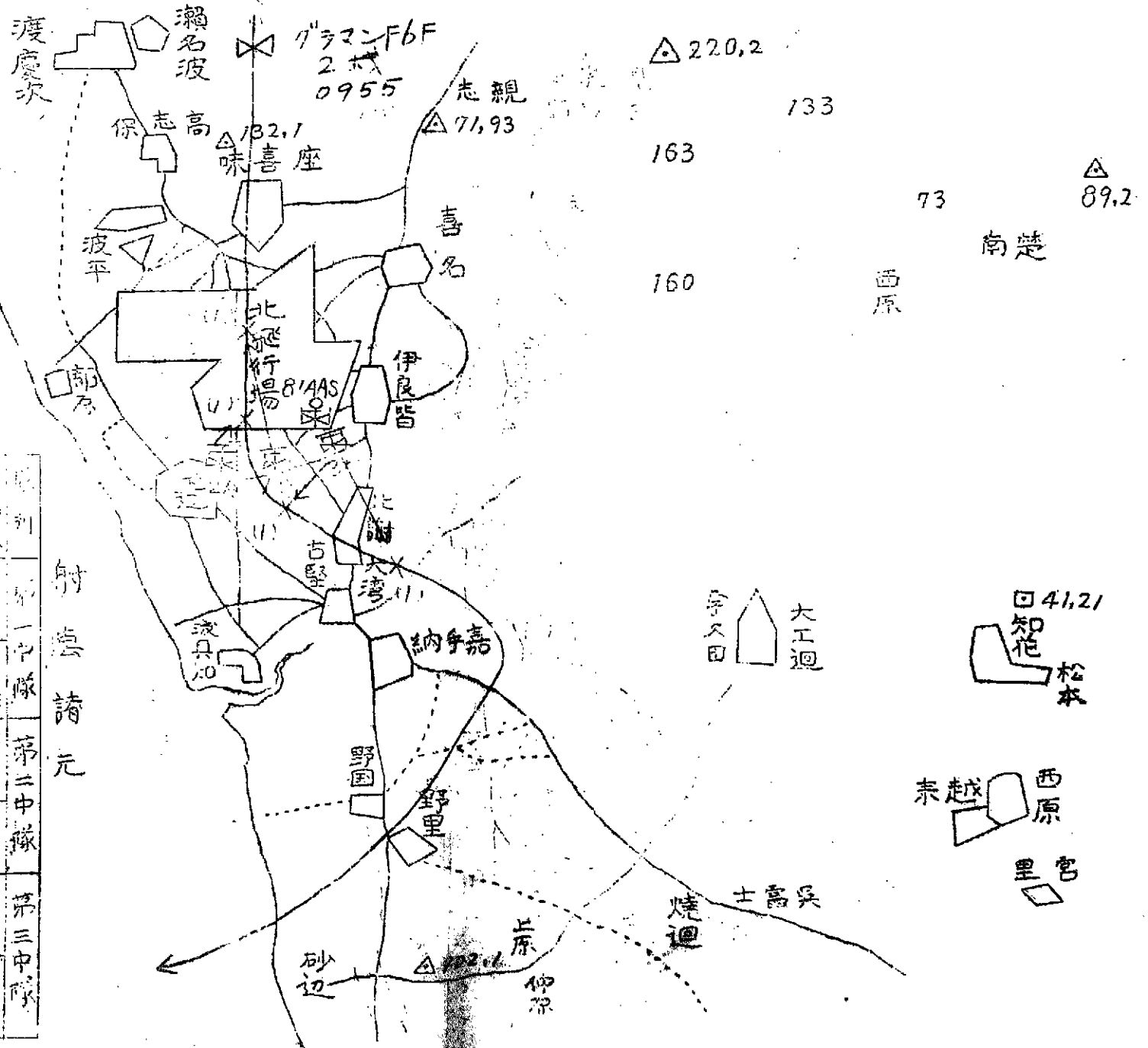
グラマンF6F
 4機
 0945

グラマンF6F
 2機
 0945

附圖第五 戰鬪要圖 (於一月三日九時五十分)

北 ↑
50000

備考
 ×ハ射撃位置
 ○ハ墜落予想位置
 長線ハ敵機墜落ヲ示ス
 括弧内數字ハ射撃ヲ示ス



射撃諸元

隊別	機名	機番	射撃回数	射撃方向	射撃距離	射撃高度	射撃結果	備考
第一中隊	B1A	110	1	北	1000	1000	命中	
			2	北	1000	1000	命中	
第二中隊	B1A	110	1	北	1000	1000	命中	
			2	北	1000	1000	命中	
第三中隊	B1A	110	1	北	1000	1000	命中	
			2	北	1000	1000	命中	

一三四 村空幾斗洋報

昭和二十一年
柳園砲台百三十大隊

